



■□■ 今年の中部地方会委員の皆さんです!!! ■□■

前列左から一小牧市民病院の木全さん・林さん・三谷さん

後列左から一海南病院の飯田さん・名古屋市立大学病院の伊藤さん

当院の今福さん・豊田記念病院の杉山さん・豊橋市民病院の間瀬さん

■ 2016.11.14

当院の看護提供方式は【固定チームナーシング】を基本とし、時と場合に合わせて【PNS(パートナーシップ・ナーシング・システム)2人の看護師で複数の患者さんを受け持つ】も併用しています。

固定チームナーシングは各部署内看護職員でいくつかのチームを編成します。チームの年間目標を持ちチームのリーダーとメンバーを固定し、患者グループを継続して受け持ちます。固定チームナーシングの良さは主に3点。

- ①チームで固定された患者さんをケアするので患者さん中心の継続した看護が実践できる
- ②チーム目標と自己目標を関連づけられるので看護職員のやりがい感や達成感が得られる
- ③チーム内で職員育成をすることで成果が出やすい

尚、この看護方式を実践している医療者が集まり学習を深める【固定チームナーシング研究会】が毎年全国集会や各地方会として開催されています。その中部地方会が今月下旬開催されます。その準備を約10ヶ月前から委員会を結成し進めてきました。地方会の学びを現場に還元でき、看護を深められるといいなと思っています。

来年度の中部地方会は当院が担当です。企画運営をしっかりと実施していきます。

さあ、明日からも患者さんのため、病院職員のために頑張ります。